



発行者/社会福祉法人東大和市社会福祉協議会
東大和市中中央3-912-3
Tel:042-564-0012 Fax:042-564-3680
<https://www.higashiyamatoshakyou.or.jp/>

東やまと 社協

特集

始動「みんなの和社協プラン」 ～第5次東大和地域福祉活動計画～

- ・策定委員長に聞く～これからの地域福祉～
- ・計画の概要ご紹介

【その他の記事】

- ・手話講習会、傾聴ボランティア養成講座等 …………… P3
- ・社協からのお知らせ(車いすまち歩き、登録ヘルパー募集等)…… P4

地域福祉活動計画とは

「地域福祉活動計画」は、地域において福祉活動を行う市民や団体が協働して地域福祉を推進するために、社会福祉協議会が策定する実践的な計画です。



市内小学校での福祉教育の様子(車いすで生活されている方のお話を聞いています。)

第5次東大和地域福祉活動計画では、「地域福祉活動の担い手の確保」が基本目標のひとつで、それを推進する重点目標としてボランティアセンターの充実が挙げられています。その具体的取組として、市内小学校で福祉体験を行っています。また多様性の尊重について、理解を育むことも期待されています。



第5次東大和地域福祉活動計画 始動「みんなの和社協プラン」



当会では、令和3年度からの6か年の第5次東大和地域福祉活動計画を策定しました。今回は、そのポイントについて、策定委員長を務められた田村隆さんにお話をうかがいました。



策定委員長 田村隆さん

策定に関わった経緯

田村 普段、社会福祉協議会の理事として携わっていることから、選ばれてきました。

(田村委員長は、当会理事の他にも、社会福祉士として成年後見人の活動をされています。地域では「介護者のつどい」に関わったり、「東大和傾聴・聞き書き隊」でボランティア活動をされています。その経験を活かして、委員としてのご協力をいただきました。)

参加しての感想

田村 コロナ禍での策定であったため、集まって会議をできるのか、オンラインを活用できるかなど正直不安がありました。

しかし、この計画は地域福祉の現場を支えている社協にとって、とても大切なものであると考え参加しました。

国や都レベルでも様々な提言やプランが作られています。この計画は地域に根差した「東大和ならではの」特徴を出す必要があると考えました。この計画が東大和の現状にあったもの、この街に必要なものになるよう作っていきたいという意気込みで参加しています。

今後の福祉で大切にすべきこと

田村 「福祉」と聞くと皆さん構えてしまうと思います。そうではなく、普段の暮らしを幸せにしていける、安全や安心を加えていくことが福祉だと思います。個人ではできないこともたくさんあって、そこをみんなで支えることが大切なのでは

ないでしょうか。そのように考えると、福祉をより身近に感じられると思います。

また、近年は様々な価値観を認め合い、多様性を尊重する社会が求められています。しかし、実際には多様性を受け入れられる仕組みが不足していると感じています。一律で支援をしていくのではなく、その人の人生にとって何が大切なのか、その人が真に必要なもの、何かが：それらを見極めて、一人一人が本当に必要としていることを支援するのが大切だと思います。平均的なサービスを一律に提供する、ということは今後の社会にはそぐわないでしょう。支援をしていくうえで、本人の意思も大切にしていきたいです。

少子高齢化の問題も気がかりです。未来の担い手となる人々たちへの支援を厚くしてほしいと思います。私たちが若い頃は、経済が右肩上がりになる時代で、生活も向上していくことが想定できましたが、今の若い人たちは、残念ながら先行きが見通しにくいと思います。現にコロナが流行したり、自然災害が発生するなど、今後何が起きるか分からない状況です。

特に、災害に対しては社協固有の役割が年々明確になってきました。例えば、社協職員は被災した地域へ災害ボランティアセンターの支援に行くなどの経験を積んでいます。そこで学んだことを地域に還元してほしいです。自治会なども災害時の備えには日々苦心しています。市民とともに有事への備えを進めること、的確な支援につなげることができるのではないのでしょうか。

また、多様性の理解にも関わって、成はともないますが、次世代の育成の中には色々な人がいるということ、世の中には色々な人がいるということ、を自然に知る、そういう機会がもっとあるといいですね。障害者の方と交流する場をつくるなど取り組みをほしてほしいです。

本計画で重要視したこと、皆さんに知っていただきたいこと

田村 重点項目に注目してもらいたい

たいです。理由としては、それが東大和で必要としている重点課題であるからです。

そして、この計画が完全ではないことも認める必要があります。コロナ禍での策定であったため、本来実施すべき住民懇談会ができませんでした。「検討」止まりの項目もあります。だからこそ、3年後の中間報告はより大切になるのではないのでしょうか。作って終わりではなく、今からがスタートと言えるでしょう。

社協には重点項目を多くのみなさんに知ってもらう活動をしてほしいです。それぞれの世代にあったPR方法があると思うので、うまく活用してほしいです。

6年後に向けてのメッセージ

田村 より暮らしやすいまちになっていくと思いますが、6年後を想定するのは難しいです。地域の問題はそれぞれの特色があります。それを解決する策は、地域ごとに異なってくるので、良い意味での「違い」や「特色」が東大和に生じているといいですね。私自身、3年後も6年後も当市に住んでいると思いますが、まずは3年後、この計画が希望あるものとして、すばらしい結果が出ていることをひとりの市民として望みます。

PR検討委員会より

第5次東大和地域福祉活動計画「みんなの和社協プラン」が出来上がり、プランに沿った事業が始まりました。

このプランは、福祉活動の実現に向け目指す姿を明確化したものです。是非多くの方に内容を理解して頂きたいと思えます。また、プランを通して、「共に関心して暮らせるまちづくり」を築くことの大切さを改めて感じました。

そんな「まちづくり」を皆さんと力を合わせて出来る事を願っています。

(斎藤 弘子)

この計画の基本理念は…

「みんなで支え合い・つながり合って安心して暮らせるまち ひがしやまと」

5つの目標と特に重視した取り組み

基本目標1 地域の暮らしを支える仕組みづくり

【特にここがポイント】

- ひきこもり支援を行います。
- 障害者の地域生活支援拠点事業を推進します。



基本目標2 地域を支える担い手づくり

【特にここがポイント】

- ボランティア・市民活動センターの充実を図ります。



基本目標3 一人ひとりが尊重されるまちづくり

【特にここがポイント】

- 成年後見制度の活用促進のための中核機関設置を目指します。



基本目標4 安心して暮らせるまちづくり

【特にここがポイント】

- ファミリー・サポート・センターの充実を図ります。
- 災害ボランティアセンターの設置に向けた体制作りを進めます。



基本目標5 社会福祉協議会の確固たる基盤づくり

【特にここがポイント】

- 安定収入の確保に努めます。



地域生活支援拠点とは？

障害のある方の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、市役所・総合福祉センターは～とふる・地域生活支援センターウエルカムが中心となり、様々な関係機関が連携し、住み慣れた地域で暮らし続けるための機能を整備して、障害のある方の生活を地域全体で支えていくしくみのことです。

基本目標3にある中核機関とは？

判断能力が低下した方などへ、適切に必要な支援につなげる地域連携の仕組みである、地域連携ネットワークの中心的な役割を担うのが中核機関です。



この計画で特に大切にしたい部分のみ抜粋してご紹介します。

(全文は本会HPよりご覧ください。)





令和3年度 手話講習会受講生 大募集!!

一年に一度限りの大募集!!
あなたの気持ちを
手話で伝えよう!



	初 級		中 級		上 級	
	①昼クラス	②夜クラス	①昼クラス	②夜クラス	①昼クラス	②夜クラス
回数	開講式+全38回(講演会・合同交流発表会を含む)					
開催	5月20日~3月17日 毎週木曜日		5月21日~3月18日 毎週金曜日		5月19日~3月16日 毎週水曜日	
時間	午前9時30分~ 11時30分	午後7時~9時	午前9時30分~ 11時30分	午後7時~9時	午前9時30分~ 11時30分	午後7時~9時
場所	社会福祉協議会、その他					
定員	各クラス30名(※ただし、感染症等の状況により変更となる場合があります。)					
対象	平成17年4月1日以前に生まれた方で、 市内在住・在勤・在学の方		平成17年4月1日以前に生まれた方で、 初級を修了した市内在住・在勤・在学の方		平成17年4月1日以前に生まれた方で、 中級を修了した市内在住・在勤・在学の方	
費用 (テキスト・資料 代金)	社協会員:5,500円 非会員:6,050円 (テキスト代3,300円込) ※中級でも使用		社協会員:2,200円 非会員:2,750円 (テキスト代 なし)		社協会員:3,850円 非会員:4,400円 (テキスト代1,650円込)	
申込み	<p>当会ホームページから申し込み、または申込用紙に必要事項をご記入の上、社会福祉協議会へ郵送・FAXまたは窓口へ持参してください。 ※募集要項を必ずご確認ください。</p> <p>☆4月23日(金)必着(申込み多数の場合は抽選)。 ☆必要に応じて面接を行う場合があります。 ☆記入漏れ等、不備がある場合は受付できないことがございますのでご注意ください。 ☆チラシ兼申込用紙は市内公民館等に設置してあります。 ☆感染症対策のため、カリキュラムや会場、受講方法(オンライン等)に変更がある場合があります。 <お問合せ> ご不明な点はお問合せください。 〒207-0015 東大和市中央3-912-3 電話:042-564-0012 FAX:042-564-3680</p>					

近年、手話は言語であるという理解が広がっています。聞こえる人たちが、あらゆる生活の場面で日本語の音声言語を使って暮らしているように、手話を言語として使っている聞こえない方たちも、あらゆる場面で手話を使って暮らせる社会をと願っています。特別なことではありません。まずは、「手話でいさづがでできること」から始めてみませんか!



※お子様を連れての受講はできません

狭山丘陵を渡るそよ風、桜から新緑へ。確実に季節は進みます。同時にコロナ禍との付き合い方も、ワクチンによる戦いも、着実に新しい段階へ進んできました。まだまだ油断はできませんが、季節を楽しむ心は大切にしたいですね。

「どこかで春」は社協が関わるサロン活動や交流会でもよく歌われていました。次の春には再びこの歌が各地で高らかに歌われることを願っています。

♪山の三月 そよ風吹いて
どこかで「春」が生まれてる

1年前に聞こえてきたのは春の音ではなく、「感染者確認」クラスター発生「3密回避」など聞きなれない言葉ばかりでした。あれから1年、今年はいくらでも春の音を聞くことができましたよ。

♪どこかで雲雀が啼いている
どこかで芽の出る音がする

思えば1年前の春は、未知のウイルスへの恐怖に世の中が騒然としていました。春が生まれてくる高揚感を忘れていたような気がします。

♪どこかで「春」が生まれてる
どこかで水が流れ出す

毎年、桜の開花予報を聞くと「唱歌」どこかで春か」の歌詞が思い浮かびます。

ほっ、とひと息



ボランティアセンターより

令和3年度ボランティア保険・行事保険の受付が始まっています!

令和3年度のボランティア保険の加入はお済みでしょうか。ボランティア保険は年度ごとに加入する保険です。令和2年度に加入した保険は、令和3年3月31日で保険期間が満了となっていますので、ご注意ください。ボランティア活動をしている方で、加入がお済みでない方は、社会福祉協議会窓口にてお申し込みください。

【ボランティア保険とは?】

ボランティア活動中や往復途上での偶然な事故・ケガにより、ボランティア自身がケガをした場合の「損害保険」と、活動中に対象者にケガをさせた、物を壊してしまった場合の「賠償責任保険」の2つの補償をセットにした保険です。現在は、活動中にボランティアが新型コロナウイルス感染症に罹患した場合も補償の対象となりました。活動を安心して行うためにも、ボランティア保険の加入をおすすめしております。

※令和3年度より、ボランティア保険Aプランの保険料が300円から350円に変更されましたので、ご注意ください。

傾聴ボランティア養成講座

傾聴ボランティア養成講座を開催いたします。施設や高齢者宅で傾聴の活動を行ってみたい方、傾聴に関心がある方、傾聴について学んでみませんか。

日時 6月18・25日、7月3・9・16・30日
毎週金曜日(全6回のうち1回実習)
13時30分~16時(最終日のみ17時まで)

会場 社会福祉協議会

参加要件 全6回出席できる方
講座修了後にボランティア活動できる方

参加費 3,500円

定員 21名

申込み 5月28日(金)まで

東大和ボランティア・市民活動センター
042-564-0035

※新型コロナウイルス感染症の状況により内容が変更になる可能性があります。



※下記のイベントや講習等は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、中止や変更となる場合があります。

イベント・講習会等のご案内

※全てマスク着用必須。入室時に検温・アルコール消毒を実施いたします。また、発熱、風邪症状のある方は参加をご遠慮いただきます。

車いすで「まち歩き」参加者募集

車いすに乗って街へ出かける体験をしてみませんか。車いすユーザーの方にも一緒に歩いていただき、街の状況や車いすでの生活をより深く知っていただく機会をしたいと思います。ご了承ください。

日時 6月4日(金)
午後1時～4時

行程 集合→イトーヨーカ堂徒歩→東大和市駅(電車)→玉川上水駅(徒歩)→イトーヨーカ堂(解散)

参加費 無料(移動時の交通費150円、ICカード利用の場合147円必要)
定員 10名
申込み 5月28日(金)までに電話かFAXにて。

電話 042-564-0012
FAX 042-564-3680

ファミリー・サポート・センター 協力会員養成講座(さわやか講座)

日時 ①5月24日(月) 午後1時30分～5時
②5月25日(火) 午後1時30分～5時

※2日間の受講が望ましい。

場所 社会福祉協議会

内容 ①高齢者の支援について
②子育て支援について、など。

申込み ファミリー・サポート・センター(社協内)へ電話または当会ホームページより
電話 042-567-0013

※後述の協力会員として登録するためには、本講座の受講が必要です。協力会員になることを希望される方、さわやかサービスに関心のある

方、ご自身のために勉強したい方など、ぜひ、上記のさわやか講座にご参加ください。(ヘルパー・看護師・保育士などの有資格者大歓迎です。ぜひご自身の知識や経験を活かしませんか！)

社協事業のご案内など

新型コロナウイルス感染症特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響で生活資金に困っている方へ貸付の申請を行っています。くわしくは当会ホームページをご覧ください。

※申請受付が令和3年6月末日までに変更になりました。

問合せ 社会福祉協議会総務係
電話 042-564-0012

ファミリー・サポート・センター 協力会員募集

ファミリー・サポート・センター事業「さわやかサービス」では、協力会員を大募集しています。

※ご自身の生活の中の空いた時間を利用して、地域の方をサポートする活動に参加しませんか！

事業内容 さわやかサービスの活動による有償の相互援助活動です。

謝礼金 1時間90円～110円
※お仕事ではありませんので、決まった額の収入を見込めるものではありません。

活動内容 小学生までのお子さんのいるご家庭の子育て支援、また産前産後の方のご家庭や、高齢者・障害者等への家事支援など

資格 さわやか講座修了者
ホームヘルパー・看護師・保育士などの有資格者

問合せ ファミリー・サポート・センター(社協内)
電話 042-567-0013

登録ヘルパー募集

ヘルパー資格のある方、社協の登録ヘルパーとして地域と一緒に働き

ませんか！
仕事未経験の方、ブランクのある方でも大丈夫です！
慣れるまで丁寧に説明し、同行しますので心配はいりません。研修もあります。

応募資格

介護職員初任者研修修了者及び旧ホームヘルパー2級以上お持ちの方
給与 時給1,250円から
※諸手当有給休暇あり

業務内容 料理や掃除、買物などの家事援助、お風呂や排泄のお手伝いなどの身体介助

応募方法 履歴書(写真有り)をご持参ください。後日面接日を連絡します。

問合せ 東大和社協ホームヘルパーステーション
電話 042-564-0038

「ウエルカム」の新型コロナウイルス感染症への対応

ウエルカムは精神障害を抱えた方々が、地域で安心して自分らしく生き生きとした生活を送れるように、一緒に考え支援する場です。

現在、コロナウイルス感染症への対応のため、プログラムを減らし、交流室は人数制限を設け、時間短縮で開所しています。来所での相談は事前予約制となっております。まず、電話にてご相談ください。

開所時間 月・水・金曜日 午前9時から午後6時30分
火・木・土曜日 午前9時から午後5時

交流室利用時間 月・土曜日 午前9時30分から午前11時30分、午後1時30分から午後4時30分

問合せ 地域生活支援センターウエルカム(社協内)
電話 042-564-0888

ケアマネジャー募集

信頼と実績のある居宅介護支援事

業所「東大和社協ケアマネジメントセンター」で一緒に働きませんか！
介護保険制度開始当初から継続している事業所です。
東大和市社会福祉協議会の事業のひとつとして実施しています。
オープンな環境でとても良い雰囲気職場です。

応募資格

介護支援専門員
給与 月給233,000円から
※諸手当・有給休暇等あり

仕事内容 介護保険居宅介護支援業務

※一部、社会福祉協議会の業務もあります。

応募方法 履歴書(写真有り)をご持参ください。後日面接日を連絡します。

問合せ 東大和社協ケアマネジメントセンター
電話 042-564-0054

あんしん東大和 住み慣れた地域で安心して生活できるようにお手伝いします

あんしん東大和では「成年後見制度の相談・支援」「福祉サービス利用援助(地域福祉権利擁護事業)」「弁護士や司法書士による専門相談」「福祉サービスに関する苦情対応等」を行っています。

認知症や障害などにより判断能力が低下し、生活に不安を感じている方やご家族等、すでに成年後見人等として支援活動を行っている親族や専門職の方からの相談を受け付けています。

また、あんしん東大和の職員が地域の会合や団体の集まり、施設や企業の研修会などにお伺いして「地域福祉権利擁護事業」や「成年後見制度」を分かりやすく説明します。

身近な相談窓口として、気軽にお問合せください。

問合せ あんしん東大和(社協内)
電話 042-590-0018

イトーヨーカ堂東大和店様 からドロップの寄付

去る2月1日、イトーヨーカ堂様からドロップ500点の寄付が

た。100周年記念のパッケージで、当会から児童養護施設及び共同作業所連絡会を通じて、障害者が通所する各作業所へ配布いたしました。ありがとうございました。



令和3年度事業計画と予算

令和3年度の事業計画と予算が決まりました。第5次地域福祉活動計画の初年度として、またコロナ後の新たな展開を含め、各種事業に取り組みます。

【令和3年度重点目標】
1. 第5次地域福祉活動計画に基づく事業の推進
2. 経営改善への取り組み
3. 地域生活支援拠点事業の推進

【令和3年度事業活動による収支】
収入 2億4,449万1千円
支出 2億4,122万8千円
※その他リース物件の返済や退職金積立等があります。

事務局人事異動

昇任 4月1日付
事務局次長 鎌田 真
退職 3月31日付
事務局次長 高橋 宏之

善意のご寄付

次の方々から善意のご寄付がありました。厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同・単位:円)
(令和3年1月1日～令和3年3月31日受領分)

お名前	金額
大和・村山自転車組	20,000
社協役員有志(7件)	9,100
中央キリスト福音教会	20,000
社労士 東大和会	15,793
その他匿名5件	111,989
店内募金	35,482
社協窓口募金	2,068
茅窪西自治会第九区 資源回収部	10,000
合計	224,432



新型コロナ 立川駅前PCR検査!
結果通知は最短即日!!
立川PCR検査スポット
立川駅近 1分! 検査3分! ご予約はこちらへ
TEL 0120-193-668
ご来店検査 5,000円
※お一人様一回の検査代金

久米川 補聴器専門店 サンプタイム
メーカー各種取扱
認定補聴器専門店
補聴器 出張 相談承ります
TEL 0120-51-4133
久米川駅南口徒歩1分 東村山市栄町2-21-3
木曜日定休 駐車場ご案内します。